

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】令和5年7月11日(2023.7.11)

【公開番号】特開2022-35447(P2022-35447A)
【公開日】令和4年3月4日(2022.3.4)
【年通号数】公開公報(特許)2022-039
【出願番号】特願2020-139780(P2020-139780)
【国際特許分類】
A 6 3 F 7/02(2006.01)
【FI】
A 6 3 F 7/02 3 2 0

10

【手続補正書】
【提出日】令和5年7月3日(2023.7.3)
【手続補正1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
演出実行手段と、
表示手段と、
複数の発光手段と、
前記発光手段の制御を行う発光制御手段と、を備え、
前記発光制御手段は、輝度データで構成された輝度データテーブルを用いて前記発光手段を制御し、
前記演出実行手段は、カットイン演出を実行可能であり、
前記カットイン演出は、第1表示態様と、第1表示態様よりも前記有利状態に制御される期待度が高い第2表示態様と、を含み、
前記発光制御手段は、
前記カットイン演出が第1表示態様で実行される場合、第1表示態様用輝度データテーブルを用いて前記発光手段を制御し、
前記カットイン演出が第2表示態様で実行される場合、第2表示態様用輝度データテーブルを用いて前記発光手段を制御し、
前記第1表示態様用輝度データテーブルが用いられ制御された前記発光手段の発光態様と、前記第2表示態様用輝度データテーブルが用いられ制御された前記発光手段の発光態様と、が異なり、
遊技制御手段により制御される複数の遊技制御側発光手段を備え、
前記複数の遊技制御側発光手段は、可変表示に関する遊技制御側発光手段と、前記有利状態のラウンド数に関する遊技制御側発光手段と、を含み、
可変表示に関する遊技制御側発光手段と、前記有利状態のラウンド数に関する遊技制御側発光手段と、は所定領域に配置されており、
前記有利状態のラウンド数に関する複数の遊技制御側発光手段は、前記所定領域に形成された区画の中に配置されている、遊技機。

30

40

【手続補正2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0006

50

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

(1) 遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
演出実行手段と、
表示手段と、
複数の発光手段と、
前記発光手段の制御を行う発光制御手段と、を備え、
前記発光制御手段は、輝度データで構成された輝度データテーブルを用いて前記発光手
段を制御し、
前記演出実行手段は、カットイン演出を実行可能であり、
前記カットイン演出は、第1表示態様と、第1表示態様よりも前記有利状態に制御され
る期待度が高い第2表示態様と、を含み、
前記発光制御手段は、
前記カットイン演出が第1表示態様で実行される場合、第1表示態様用輝度データテ
ーブルを用いて前記発光手段を制御し、
前記カットイン演出が第2表示態様で実行される場合、第2表示態様用輝度データテ
ーブルを用いて前記発光手段を制御し、
前記第1表示態様用輝度データテーブルが用いられ制御された前記発光手段の発光態様
と、前記第2表示態様用輝度データテーブルが用いられ制御された前記発光手段の発光態
様と、が異なり、
遊技制御手段により制御される複数の遊技制御側発光手段を備え、
前記複数の遊技制御側発光手段は、可変表示に関する遊技制御側発光手段と、前記有利
状態のラウンド数に関する遊技制御側発光手段と、を含み、
可変表示に関する遊技制御側発光手段と、前記有利状態のラウンド数に関する遊技制御
側発光手段と、は所定領域に配置されており、
前記有利状態のラウンド数に関する複数の遊技制御側発光手段は、前記所定領域に形成
された区画の中に配置されている、
ことを特徴とする。

10

20

30

40

50